

ふうしゅてんけい

# 風趣点景

管内滝巡り③



## 遠野市「<sup>ふじ</sup>藤<sup>さわ</sup>沢<sup>おう</sup>應<sup>たき</sup>滝」

直瀑／推定落差・共に10メートル

写真・文／高沢翔

西和賀町をメインに風景写真を撮っている写真家。写真絵葉書を7作発行。平成21年～23年までJAいわて花巻監事を1期務めた。本名：高橋定雄(西和賀町沢内在住)

遠野市小友町、藤沢の滝農村公園にある「藤沢應滝」の男滝・女滝です。この溪流には大小七つの滝があり、遊歩道から眺めることができますが、一部がけ崩れがあり注意を要します。

男滝・女滝は遊歩道の終着点になりますが、右と左にお互い背中合わせに流れています。男滝は袈裟を着たお坊さんのようにも見え、女滝は尼さんの様にも見えます。

この公園は往復しても約一時間。ぶらりと散策するには最適でしょう。



**秋** 風に稲の香り感じるこの季節は、いつも幼い頃の思い出が蘇る。母方の実家では稲刈りが終わると、牛舎横の小屋の中には屋根に到達するくらいに藁が積み上げられていたものだ。頂上に登るとそこはまるで屋根裏部屋で、子どもたちの秘密基地だった。ほどなく大人たちに叱られ秘密の計画は失敗に終わるオチなのだが……。あの頃に一緒に遊んだ仲間、そして藁の匂い。とかく寂しさを感じる秋だが、昔の腕白な思い出が蘇り毎年の心が温かくなる。【及川】

**今** 年の1月。新年の幕開けと共に、この場所で鍋の様な人になりたいと書いた。実は、もう一つやりたいものがある。それはマゴノテのような人。「かゆい所に手が届く」という声の前に、かいてほしいという「想い」に気がつき応えられる人。そして、一個人としてだけでなく、やっぱり私はそんな広報誌を作る広報マンになりたい。目指すのは、知りたいことや伝えてほしい声が詰まっている広報誌。マゴノテのような、鍋のような、あったかあい「ぼらーの花巻」【大内】



### 編集後記

From Editor's

